

【様式】

政務活動一覽

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
R5.7.3 ～ 7.6	7月4日 9時から 12時15分	青森県上北郡 六ヶ所村	日本原燃(株) 六ヶ所原燃 PR センター他	日本原燃(株) 技術本部及び 地域・広報本部	原燃センター 全体説明、六ヶ 所再処理工場 見学、低レベル 放射性廃棄物 処理センター 見学及び原燃 輸送(株)むつ 小川原湊見学	0829
R5.7.3 ～ 7.6	7月5日 9時から 12時15分	秋田県南秋田 郡大潟村	大潟村干拓博 物館・八郎潟干 拓事業現地視 察	大潟村教育委 員会 大潟村議会 八郎潟基幹施 設管理事務所	八郎潟干拓と 大潟村の歴史 について博物 館内の説明・見 学	0829
R 5.7.3 ～7.6	7月5日 13時から 16時	男鹿市船川港 船川泉台	男鹿市観光協 会DMO推進 室及び男鹿自 転舎	男鹿市長、男鹿 市観光スポー ツ部観光課、男 鹿市観光協会 事務局及びD MO推進室	男鹿サイクリ ングロードに ついて経緯・現 状・課題等につ いて視察調査、 体験	0829
R5.10.26	13時～14時	鳥取市東町2 丁目124番地	鳥取県立博物 館	尾崎館長	日本にしか存 在しない勾玉 を、鳥取県所蔵 の重要文化財 をはじめ、全国 各地から勾玉 を集め企画展 示した目的と 効果を視察調 査した。	1026-2

R6. 1. 4	13時～14時	鳥取市今町 2丁目 153	ホテルニューオータニ	鳥取市長他	新年に当たり主催者の鳥取市長、国会議員等来賓の挨拶。多くの参加者からたくさんの情報収集と歓談を深めた。	0104
R6. 3. 2 ～ 3. 3	11:00～17:00	東京都台東区浅草1丁目12-9	浅草・鳥取アンテナショップ・浅草すしや通り商店街組合	参議院議員赤池誠章氏 堀田鳥取県東京本部長	鳥取県の地域特産品や観光資源を説教的に紹介し、地域振興につなげるために行われている鳥取県物産展と鳥取県のアンテナショップを視察し、販売品や展示内容、集客方法などを調査する。また、子どもの体験活動の実施やコミュニティースクール推進の取り組みを調査する。	0312-2

- ・交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

## 活動報告(県外・国外)

議員名：中島規夫

活動事項	日本原燃(株)原子燃料サイクル施設視察調査
活動年月日	令和5年7月4日(火)9:00~12:15 政務活動
場所	日本原燃(株)六ヶ所原燃PRセンター他
活動の相手方	日本原燃(株)常務執行役員技術本部長技術委員会担当 松田孝司氏 日本原燃(株)理事 地域・広報本部・副本部長 吉田薫氏 日本原燃(株)技術本部副本部長 大田康夫氏
活動の目的	島根原発のUPZ内に位置する境港市を有する鳥取県議会議員として、今後の2号機再稼働を見据え日本原燃(株)の原子燃料サイクル事業を理解すること。
活動の内容	六ヶ所原燃PRセンターでの全体説明 六ヶ所再処理工場見学 低レベル放射性廃棄物埋設センター見学 原燃輸送(株)むつ小川原港見学
活動の結果等	原子力発電所で使用されたウラン燃料から、まだ使えるウランやプルトニウムを再処理することにより再利用する一連の流れが理解できた。またそれは準国産燃料となることも知った。このサイクルが完成したら資源の少ない我が国でもエネルギーの長期安定確保が可能になるため、安全安心な技術の確立が重要であると感じた。
関連領収書番号	0829

## 活動報告(県外・国外)

議員名：中島規夫

活動事項	大潟村博物館視察・八郎潟干拓事業現地視察
活動年月日	令和5年7月5日(水)9:00~12:15 政務活動
場所	大潟村干拓博物館及び八郎潟干拓地
活動の相手方	秋田県大潟村教育委員会教育長 北林 強氏 秋田県大潟村議会議長 丹野敏彦氏 秋田県八郎潟基幹施設管理事務所職員
活動の目的	我が国が食料安全保障の確立を目指す中で、世紀の大事業といわれた八郎潟干拓が現在どのような姿となり、どのような課題を持っているのか調査する。
活動の内容	大潟村案内ボランティアの会松崎副会長に八郎潟干拓と大潟村の歴史について博物館内を説明・見学。 その後、車に同乗いただき現地及び南部排水機場視察。
活動の結果等	大潟村干拓事業博物館では干拓事業がいかに困難であったか、当時の現状を知ることができた。また本県からも4人の入植者がおられたという事実も知った。現地では本県では考えられないような広大な農地での米の栽培状況、また現在では米以外の高収益作物栽培も行われていた。国策として事業が行われ現在でも農水省・秋田県・八郎潟土地改良区それぞれが役割を分担し維持管理を務めていた。今後のわが県の農業の発展に寄与する学びとなった。
関連領収書番号	0829

## 活動報告（県外・国外）

議員名：中島規夫

活動事項	秋田男鹿サイクリングロードの取り組みについて
活動年月日	令和5年7月5日(水)13:00~16:00 政務活動
場所	秋田県男鹿市役所・男鹿サイクリングロード
活動の相手方	秋田県男鹿市長 菅原広二氏 男鹿市観光スポーツ部観光課長 杉本一也氏 男鹿市観光協会事務局長 佐藤 豊氏 男鹿市観光協会 DMO 推進室主査 ████████氏
活動の目的	男鹿市が取り組む「秋田男鹿サイクリングロード」について、経緯・現状・課題等について視察調査、体験する。
活動の内容	男鹿市役所にて菅原市長他の方々から説明 男鹿自転車舎にてレンタサイクルを借りてコース試走
活動の結果等	本県の推進するうみなみサイクリングロードのナショナルサイクルルート指定とは違い、男鹿市では市民の健康づくり、観光客の2次交通の未整備などに対応するため秋田県の協力を得て本事業を進めていた。そのため独自に観光協会内に DMO 推進室を設置し、行政の枠を超えた取り組みができています。またコース案内パンフレットもコースごとに作成、単純で見やすくサイクリストの負担にならないように感じた。見習うべきである。体験走行中にも観光客から「レンタサイクルあるんですか」と声をかけられるなど需要があることも理解できた。聞き取った中での課題はスポーツ型電動アシスト付き自転車などの整備費用とレンタル料金との乖離であった。またナショナルサイクルルート指定を目指さないから当然ではあるがコース上の矢羽根表示などは少なかった。
関連領収書番号	0829

【様式】

活動報告(県外・国外)

議員名：中島規夫

活動事項	県外視察(浅草・鳥取アンテナショップ)
活動年月日	令和6年3月2日(土)～3日(日)11:00～17:00 政務活動
場所	浅草、鳥取アンテナショップ(浅草)
活動の相手方	参議院議員 赤池誠章 様 鳥取県庁 堀田東京本部長
活動の目的	鳥取県の地域特産品や観光資源を積極的に紹介し、地域振興につなげるために行われている鳥取物産展と鳥取県のアンテナショップを視察し、販売品や展示内容、集客方法などを調査する。 また、子どもの体験活動の実施やコミュニティースクール推進の取組みを調査する。
活動の内容	浅草すしや通り商店街振興組合主催によって行われているお祭り で、鳥取物産店が出店されており、現地に視察し、集客や品揃えなどを視察した。また、新橋にあるとっとりおかやま館(アンテナショップ)を視察し、利用状況や取組みを確認した。 また、参議院の文教科学委員会筆頭理事の赤池参議院議員とコミュニティースクールについて意見交換を行った。
活動の結果等	山陰三ツ星マーケットさんによる浅草の物産展はとても地方の商品が並んでいるとは思えないような、百貨店にも並んでいてもそんな見ごたえのある商品が並んでいた。少量多品種で並べられている陳列方法も洗練されていた。一方で、アンテナショップとっとりおかやま館は、浅草の物産展と比べると、訪れる者の「わくわく感」は薄いように思えた。この辺り、工夫が必要であるので、担当課には要望していきたい。 また、赤池参議院議員との意見交換会においては、コミュニティースクールは地域の中核として位置付けられ、地域住民の交流や情報交換の場として機能する必要がある、学校と公民館組織ではカバーしきれない空白を埋める重要な役目を担っていることを再確認しました。
関連領収書番号	0312-2